

海業推進会議のこれまでの取組



令和6年11月13日
愛南町 海業推進室



海業推進会議について

「^{うみぎょう}愛南町海業推進会議」の立ち上げ ……「なりゆき」の未来から「なりたい」未来へ

名称:愛南町海業推進会議(愛南町懇話会等の設置及び運用に関する要綱に基づく設置)

基本理念:多主体連携による自律的な取組の創発

- 協議事項: 1 海や漁村の魅力を活用した取組・事業の計画策定及び推進に関すること
 2 上記に係る各関係団体・組織の連携に関すること
 3 上記に係る人材の育成に関すること

委員の構成及び検討体制 (事務局:水産課海業推進室)

全体会

※全体会は公開で開催

- | | | | | |
|------------|--------------------|--------------|-------------|------------|
| 1 識見を有する者 | 2 漁業・水産業事業者 | 3 水産業協同組合関係者 | 4 農林業・JA関係者 | 5 飲食・販売事業者 |
| 6 宿泊・旅行事業者 | 7 マリンレジャー・アウトドア関係者 | 8 商工・観光業関係者 | 9 学校教育関係者 | 10 研究機関関係者 |
| 11 金融機関事業者 | 12 地域おこし協力隊 | 13 メディア関係者 | | |

オブ 愛媛県

町役場 副町長、水産課長、海業推進室長、商工観光課、農林課、環境衛生課、生涯学習課、企画財政課

定員:25名以内(町外からの選任可)
任期:3年以内(再任を妨げない)

運営委員会

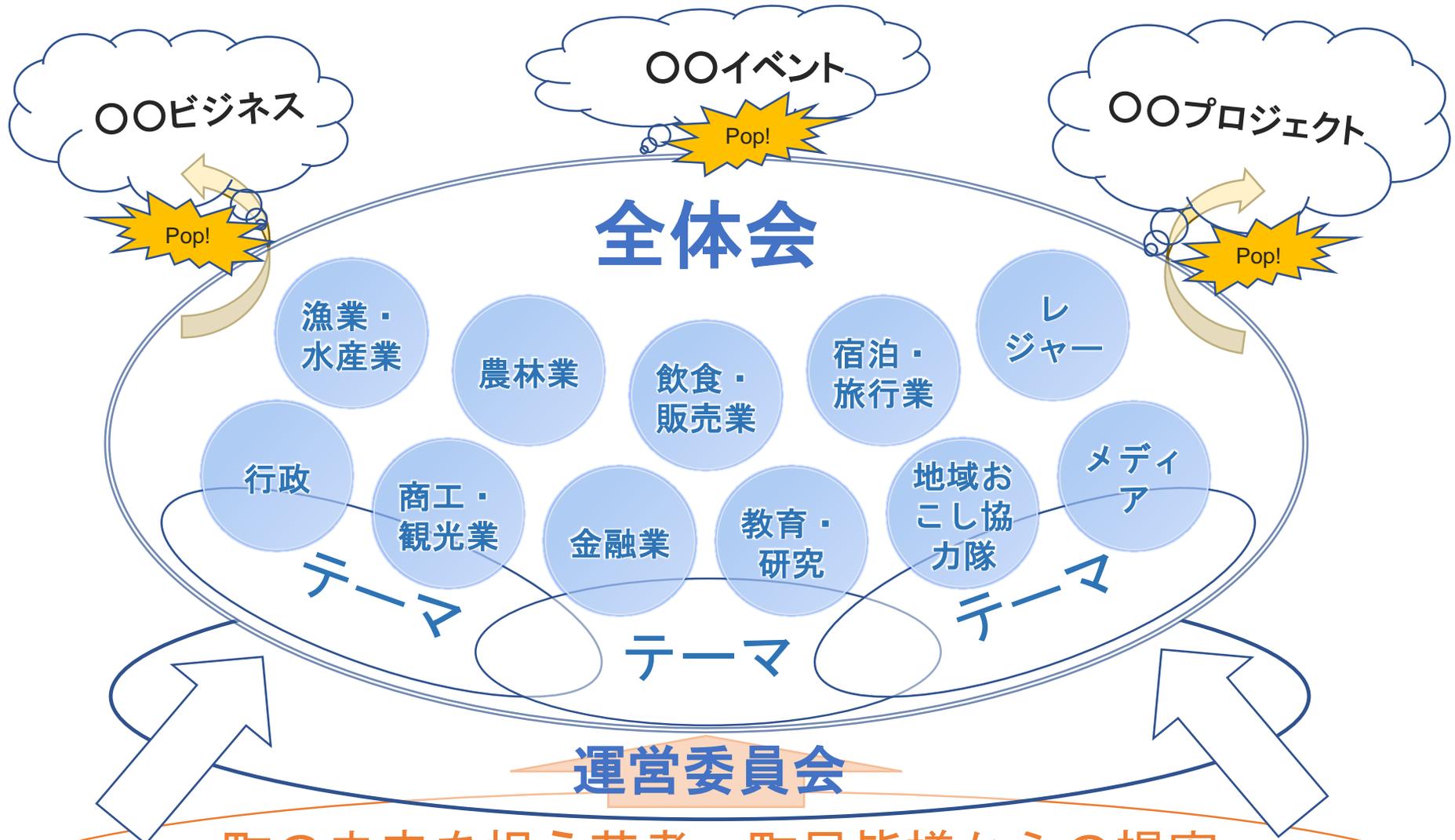
全体会委員からの自薦・他薦及び事務局 →全体会合の前後に適宜開催

スケジュール

		令和5年度				令和6年度			令和7年度			令和8年度		
		R5 4-6月	7-9	10-12	R6 1-3月	4-6	7-9	10-12	R7 1-3月	4-6	7-9	10-12	R8 1-3月	4-6
委員募集		6月上旬 広報 ~中旬 公募・選定 委員への趣旨説明						任用期間					6月上旬 ~中旬 委員への 趣旨説明	▶★ 広報・選定 委員への 趣旨説明
全体会	全体会	※委員への事前 アンケート実施	★ 7/27	★ 9/20	★ 12/13 ★ 1/31 ★ 3/13	★ 6月中旬		★ 11月上旬	★ 3月上旬	★ 6月中旬		★ 11月上旬	(★)	★ 6月中旬
	運営委員会 (適宜)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		※全体会の前後で適宜開催												
グランドデザイン策定		▶				★ 3/22	-----▶							▶
							★ 視察?	★ 視察?	計画のフォローアップ、見直し					

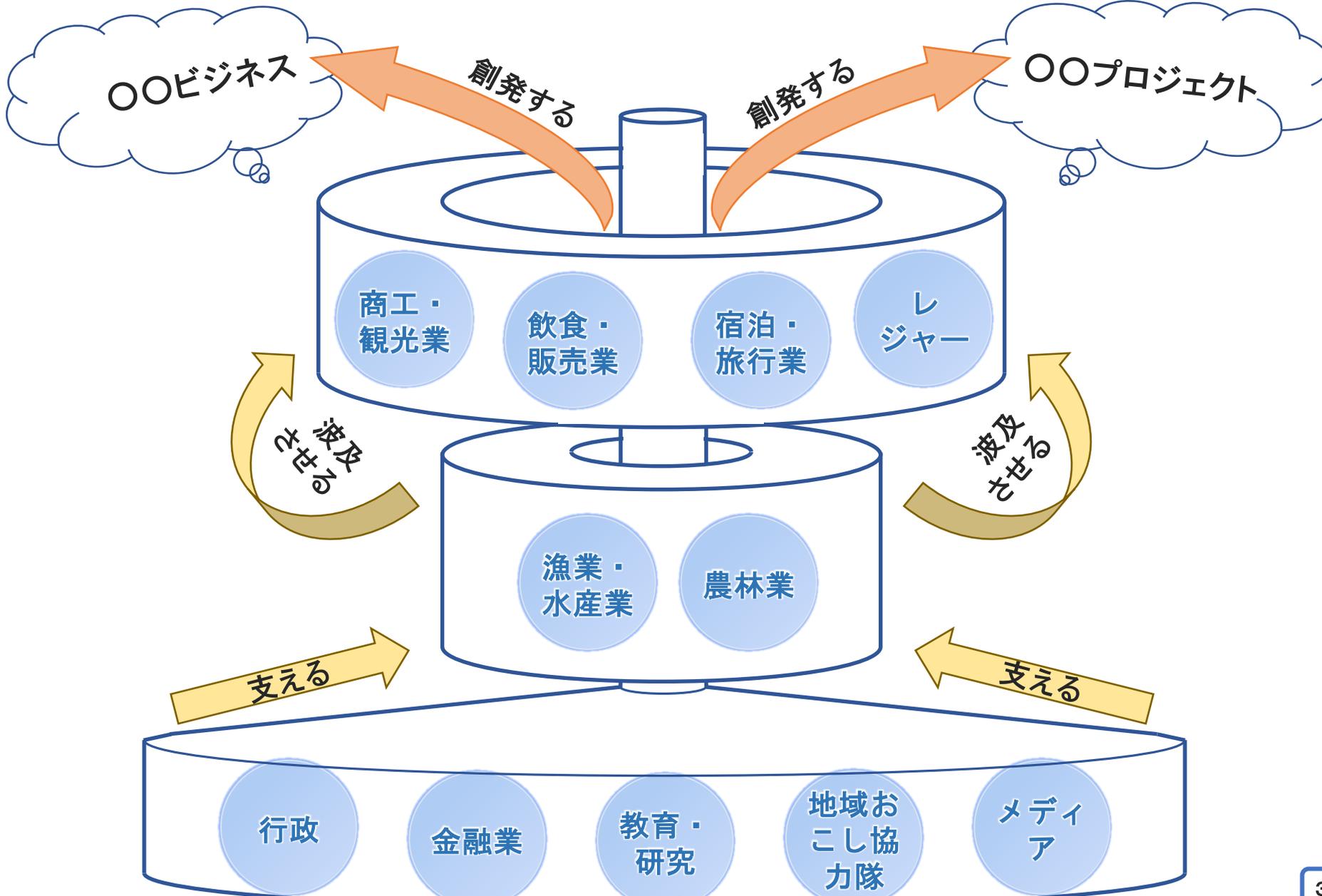


海業推進会議の構成イメージ



町の未来を担う若者、町民皆様からの提案
※町内小中学校へのアンケート実施
※南宇和高校、愛大南水研へのアンケート及び意見交換 等

愛南町の海業の立体構造イメージ





※ 海業（うみぎょう）は、海に関わる地域資源の価値や魅力を活用する地域活性化の取り組みです

愛南町海業グランドデザイン

愛南町は^{うみぎょう※}海業で

すべての世代の想いがつながり

共にワクワクする舞台を

実現します!!

令和6年3月 愛南町海業推進会議委員一同



愛南町海業グランドデザイン 策定の理念

若者が戻らず過疎化が進む町
そんな故郷・愛南町を誇りに思っているだろうか？

掘り起こすほど出てくる自然の恵み
食、伝統、文化、そして人財

今の私たちの幸せは、先人方が築き、守ってきた
この魅力と歴史の上に立っている

今を生きる私たちこそ、未来の住人にバトンを渡す当事者だ

全世代がつながる新たなチャレンジ、美しい海や環境を次世代に繋ぐチェンジで

人と自然が紡ぐ私たちの舞台
共にワクワクする愛南町の未来を創り出そう！



地域の宝=地域資源の今と未来のキーワード

体 験

- ・食と自然
- ・農林・水産
- ・マリンレジャー
- ・観光船
- ・ぎょしょく

担い手

- ・シルバー人材
- ・未来の子ども達
- ・コンシェルジュ
- ・ガイド、ツアー
- ・ボランティア
- ・地域商社

空 間

- ・飲食・宿泊
- ・廃校、空き家
- ・公園
- ・石積み
- ・インターネット
- ・コワーキング

豊かで美しい環境

- ・海ごみゼロ
- ・森と海の循環
- ・再資源化

これら地域資源をつなぎ合わせ、町を輝かせる物語(ストーリー)を推進します！



海業グランドデザイン

愛南町海業グランドデザイン 「すべての世代の想いがつながり、共にワクワクする舞台」

※各プロジェクトは例示であり、今後更新されていきます。また、未来の構想やアイデアも含まれます。

地図：国土院提供全国ランディングシステムデザイン協議



(町内全域) 愛南ぎょしょくツーリズムプロジェクト

(内海・西海地域) 愛南町ブルーカーボン創出プロジェクト

(西海地域) インバウンド！AINAN ツアー生成プロジェクト

(町内全域) 愛南町盛旬満喫スタンプラリープロジェクト

食べて楽しんでスタンプGET 抽選で特産品プレゼント

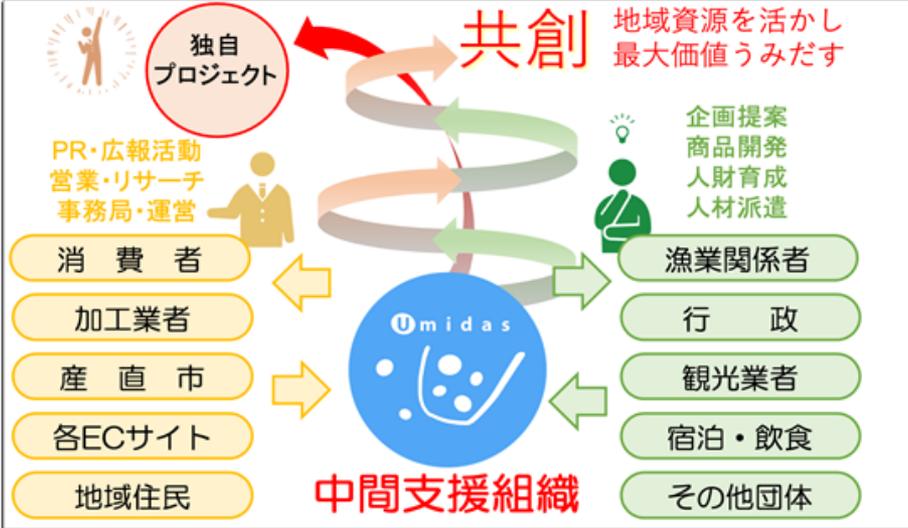




海業グランドデザイン

海業に乗り込む物語たち① ※ここに記載する内容は例示であり、今後更新されていきます。また、未来の構想やアイデアも含まれます。

「愛南海業コンシェルジュUmidas」プロジェクト



【活性化スキーム】 外部から所得を獲得 (バケツの水を増やす) ・ 町内の取引を拡大 (バケツの穴を塞ぐ)

体験

担い手 空間

豊かで美しい環境

【体制】
海業推進会議委員を中心とした
地域ビジネス共創チーム

直近のスケジュール	～令和6年度	7年度	8年度
任意団体・チームづくり	▶▶▶▶▶		
運営委員会の開催数	▶▶▶▶▶	※事業化に向けた実践的な議論の場へ	
コンシェルジュ活動	▶▶▶▶▶		
人材リンク事業	▶▶▶▶▶		
ツアー企画の現地調整等	▶▶▶▶▶		

【目的】 「海業推進とはなんぞや？」という疑問に対応し
愛南町全体でワクワクする未来を共創し続けるしゅきを生み出す

【内容】
「海業推進会議の委員」（異業種人材）から成る中間支援組織
漁業関係者だけでなく、行政・観光・宿泊・飲食・その他様々な団体と
消費者やサービス・地域住民を結びつけ、共創関係を築き
「地域資源の価値」を最大化する地域ビジネスを展開する

“Umidas” 5つの「生み出す」

- U** = 複数の要素を補完する中間支援の役割と海業推進チームの頭文字
- m** … motivation & money 「モチベーションとお金」を生み出す
- i** … innovation 「イノベーション（アイデア）」を生み出す
- d** … design 「デザイン」を生み出す
- a** … ai & action 「愛・郷土愛（シビックプライド）と行動」を生み出す
- s** … Sustainable 「サステイナブル地域ビジネス」を生み出す

【背景】 コンシェルジュ活動の必要性と海業共創チームの必要性
来訪者に愛南の魅力を紹介・提供するための仕組みが求められている
また、町内のすべての人に「愛南町の海業」を説明、理解してもらい
海業推進の仲間を増やし、課題や情報を共有するコミュニティの不足
官と民が連動した「海業推進会議」をさらに活発化させ継続する必要

【実施場所】 拠点未定
委員の事務所や集会所や公民館を活用（スモールスタート）

【手法】 コーディネート・補完・支援人材リンク
企画立案→資金調達（民間投資）→運営（外部所得の獲得）
→分配→地域経済循環率向上
※中間支援（ツアー企画の現地調整や、困りごと解決サポートといった
コンサル等）に加えて、組織単独での事業も実施することで、町内
関係団体からの協力資源を確保しつつ、外部所得の獲得を図る。



これまでの議論の振り返り

海業推進会議 全体会	第1回 23/7/27	第2回 23/9/20	第3回 23/12/13	第4回 24/1/31	第5回 24/3/13	第6回 24/6/26	第7回 24/11/13
主要議題	<ul style="list-style-type: none"> ・海業について(パネルトーク) ・グループワーク(3テーマ毎) 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生の「未来の愛南町」コンテスト(絵・作文) ・グループワーク(4テーマ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛南町の海業のイメージ(これまでのアイデアを9つに区分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドデザインの骨子案(グループワーク+全体討議) 	<ul style="list-style-type: none"> ・海業グランドデザイン(案) ・海業事業計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・海業推進の方向性について ・グランドデザインの進捗報告 ・視察について 	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドデザインの進捗報告 ・今後の海業の推進について

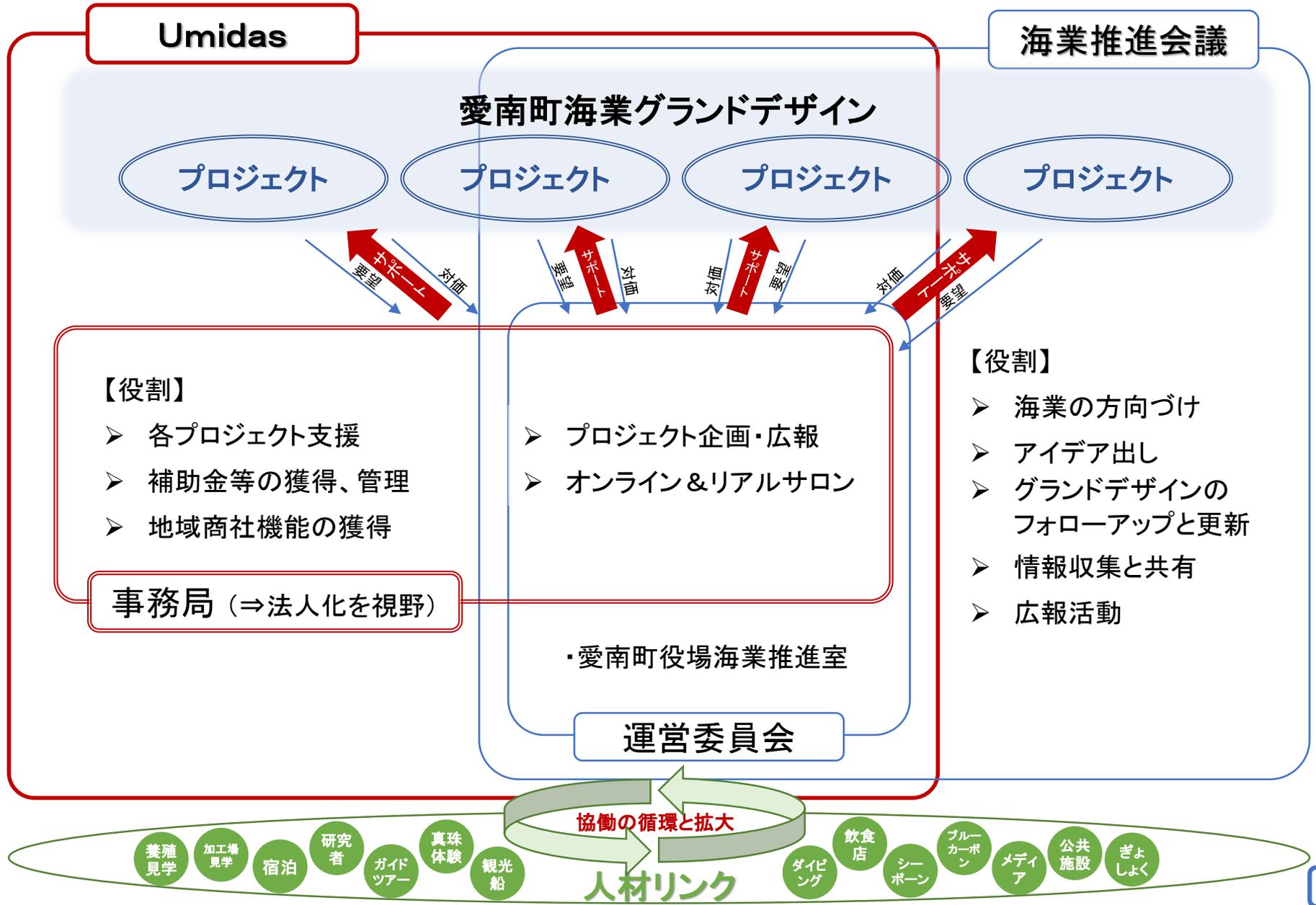
(中間支援機能に関するこれまでの意見)

【事業内容について】

- ・地域コーディネーター的に機能するコンサルのような存在なのでは。コミュニティの育成も重要。(2/28 運営委員会)
- ・リーディングプロジェクトを立ち上げて応援するようなスタートが良いのではないかと。(4/11 前田先生打合せ)
- ・短期的に旅行業を始めて、着地型観光を作る。直接観光客を呼び込む仕掛けにトライしてみたい。(5/22 運営委員会)
- ・ツーリズムや旅行業をやるならば観光協会との共存が必要。一緒になって考える必要がある。(5/22 運営委員会)

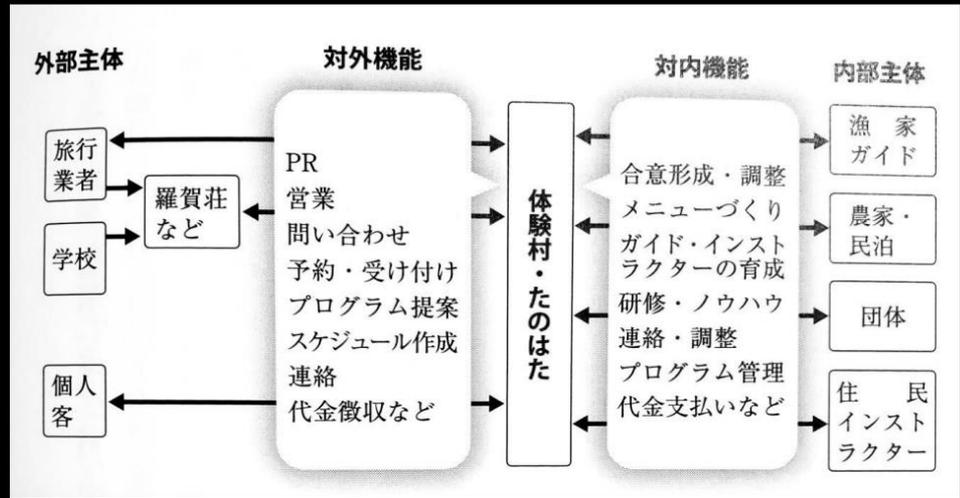
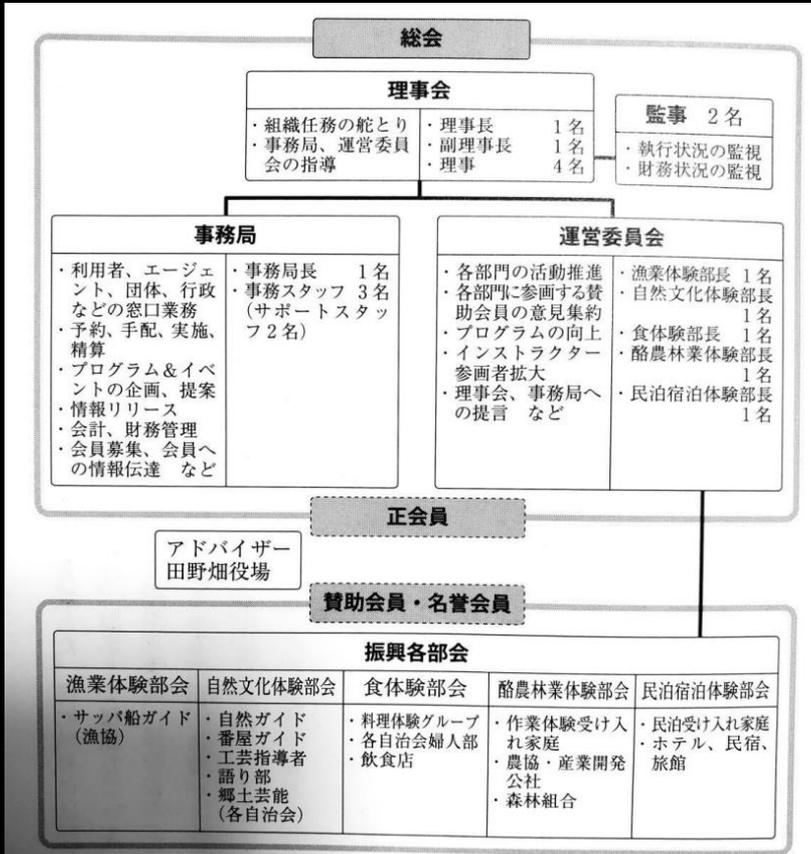
【体制・予算について】

- ・皆本業がある中で具体的に話をする必要がある。役割やお金の集め方など。(2/13 運営委員会)
- ・始めるときはプロジェクトを専門に担当する担当者が必要。個人だけでも役場だけでもできない。(2/13 運営委員会)
- ・運営委員会を母体にしても良いと思う。法人化と物理的な拠点が必要。(3/7 運営委員会)
- ・ボランティアにならないよう対価を得られる仕組みが必要。(3/7 運営委員会)
- ・漁業のみならず行政・観光・宿泊・その他さまざまな団体と消費者やサービス・地域住民を結びつけ、海業を活発化させて継続させるための組織体が必要(3/13 全体会)
- ・困りごと解決サポートは公共が担う役割をサポートする存在になる。委託費ががっつり必要。(4/11 前田先生打合せ)
- ・コンシェルジュ的な機能を持つならば外部の人間がいた方が良い。適宜外部の視点は必要。(4/11 前田先生打合せ)
- ・誰がやるのか。常勤か非常勤か、ボランティアか。お金を得るかどうかを決めなければならない。(4/23 運営委員会)
- ・事業計画を作成すれば議論が深まるのではないかと。(4/23 運営委員会)
- ・初期費用は公的資金で賄っていき、プロジェクトが軌道に乗ったら補助に頼らないという姿なのでは。(4/23 運営委員会)
- ・各委員は関わられるプロジェクトがあれば関わるということで良い。(4/23 運営委員会)





海業の事例—岩手県田野畑村 地域資源の価値創造と中間支援組織





岩手県視察について

○概要

視察日：令和6年10月9日～10月11日

場所：岩手県大槌町、田野畑村

参加者：海業推進会議委員9名、
愛南町水産課3名、漁村総研2名



ブルーツーリズム 海洋教育等の意見交換



- テーマで分かれて意見交換
- ・愛南町との類似点や参考にしたい事例がたくさん。
 - ・成功事例や失敗事例、立ち上げの経緯等を研修

商品開発を支援する町施設

- ・様々な調理器具や加工機器を有償貸出し。
- ・2階には貸出し可能なオフィスも完備



地場産業活性化センター

NPO法人おおつちのあそび



エコツーリズムや 体験教育の拠点

- ・山・川・海の魅力提供コンテンツを町内外に発信。
- ・地元の水生生物を展示し、子供たちの学びの場にも。



岩手県視察について

○概要

田野畑村番屋群 漁師ガイド体験



サップ船漁師の作業小屋

- ・地元漁師ガイドが歴史や生活様式を方言キツメで説明。
- ・その土地ならではの自然や震災から復興までの様子も。

番屋の有効活用

- ・番屋を活用した様々な体験プログラムを提供。
- ・屋外プログラムの代替案である塩づくりを体験。



田野畑村番屋 塩づくり体験

北山崎ビジターセンター



たのはたネットワークの拠点

- ・地元の自然や文化に触れられる施設で情報発信拠点。
- ・NPO法人の設立経緯や運営状況等の意見交換。

○感想

東日本大震災からの復興のため、あらゆる垣根が取り払われ、地域全体が連携し、地域活性化のために尽力している印象。特に大槌町では町外の人が価値や魅力を発見して移住し、様々な事業を展開、あるいはコーディネーターとして活躍。行政は資金面や人的支援を行う。